

各位

2024年6月14日  
会社名 のむら産業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 清川悦男  
(コード番号：7131 東証スタンダード)  
問合せ先 常務取締役 西澤賢治  
URL：https://www.nomurasangyo.co.jp/

## 2024年10月期 第2四半期 決算補足資料

この質疑応答集は、2024年6月11日に発表いたしました2024年10月期 第2四半期 決算について、当社で想定していました質問および発表以降に株主、投資家などの方々から頂いたお問い合わせ、感想についてその内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

### Q1 | 第2Qの増収・増益の要因を教えてください。

A | インバウンドの需要増加などの影響により外食関連等の業務用販売が堅調に推移したこと、および機械関係の販売が堅調に推移したことにより、前年同期比5.9%の増収となりました。営業利益につきましては、原材料の高止まりなど引き続き厳しい状況が続いておりますが、コスト全般の見直しなどにより販売管理費を抑えられたことにより増益の結果となりました。

### Q2 | 第2Q時点における通期予想に対する進捗率についてはどのようにお考えでしょうか。

A | 1Qでの機械の大型案件を納品できたことなどにより、通期予想に対する進捗率は堅調に推移しております。引き続き業績を維持しつつ、通期計画達成に向けた活動に努めて参ります。

### Q3 | 進捗率が好調のようですが、下期の見通しについて教えてください。

A | インバウンド需要増加などの影響による外食関連等の業務用の米袋については、引き続き一定の需要は見込めると考えております。ただ、足元では米の価格上昇や為替変動による原価上昇などの様々なリスク要因もあり、現段階では公表している通期の数値目標達成を目指してまいります。

### Q4 | 猛暑による米不足とインバウンド需要により米価格が高騰という報道がありました。米の価格の高騰は貴社にとってはマイナス要因になるのでしょうか。

A | 米の価格高騰により米の需要が減少した場合は当社にとってマイナス要因になりますが、米不足や米価格の高騰が米の需要減に直結するかはこれまでの経験からも判断が難しいところです。当社としましては、有価証券報告書の【「事業のリスク等」(1)米の生産・消費動向について】に記載しております通り、当該リスクへの対応に努めて参ります。

**Q5 | 新市場開拓と新商材の営業のために積極的に展示会などに出展されているとのことですが、感触はいかがでしょう。**

**A |** 新市場の開拓としては、展示会等をきっかけに、新たに農薬用の小袋用計量包装機や製薬業界向けの製品を受注・納品することができました。また、物流梱包につきましても環境に配慮した紙緩衝材やリサイクル商材など、展示会を通して取扱い商品を積極的にアピールした結果、新規顧客獲得に成功しております。引き続き、営業活動の強化や展示会出展などをおこない、新市場開拓および新規顧客開拓を進めてまいります。

以上